

利便性の高い「地域公共交通網」形成を！

「熊本市地域公共交通網形成計画」が策定中です

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、将来にわたり持続可能で利便性の高い公共交通網を形成するために必要な取り組みを具体的にすすめるための計画づくりです。今年度末までに策定予定です。計画の期間は、「2016年4月から2026年3月まで」の10年間です。

公共交通の現状・・・「自家用車」の利用増、「公共交通」の利用減

依然として自家用車の利用は増加し、公共交通利用者は減少傾向です。今後の人口減少等を踏まえると、公共交通の維持には様々な困難も考えられます。

鉄軌道・バス等全般にわたり、速達性・定時性・輸送力向上等の機能強化を図っていくことが重要です。

また、鉄道事業では、市電・路線バス・自家用車・自転車等の二次交通との駅における結節強化が必要です。市電の通勤時間帯の乗車できない状況改善のための輸送力向上と合わせ、市電・バスともに高齢化を見据えたバリアフリー促進等の利用環境改善なども必要です。



今後、「公共交通」が果たすべき役割

- ① 通勤・通学・通院・買い物・行政サービスの利用など、日常生活に必要な移動を支えること
- ② コンパクトシティとそのネットワークを担う重要な移動手段
- ③ まちの賑わい創出や、環境改善への貢献

左記のような役割を果たしていくための具体的な施策や事業も定め、目標値に沿った達成状況についての評価も行っていきます。

1月には、計画の素案についてのパブリックコメントも行われますので、多数の意見をお寄せください。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか 山部洋史
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 973
2015年11月22日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



一般質問の傍聴にお越しください

なすまどか議員が一般質問を行います



日時：12月1日（火）午後2時より 場所：市議会本会議場

1年に1回しかできない一般質問。120分間の時間のなかで、現場の声や実態を示しながら、「暮らしや福祉を守ってほしい」との市民の方々から寄せられた思いを、大西市長をはじめ市に届けてまいります。

ぜひ、傍聴にお越しいただきますようお願い致します。



質問項目

- MICE施設整備、桜町再開発について
- 立野ダム建設について
- 国民健康保険や介護保険について
- 子育て支援について
- おでかけパス券廃止について
- 出張所等の再編方針について
- 地域経済の活性化について
- その他

【控室から】北XJまつり

やまべひろし

11月14日、植木文化センター・芝生広場で行われた「北区こどもまつり」に来賓として出席しました。地域全体で子どもたちの成長を見守り、親睦と交流をはかる目的で今年から始まったものです。北区の小・中・高生による吹奏楽や太鼓演奏、そして屋外芝生広場では、北区の農産物販売、出張植木温泉など盛り沢山の内容でした。

文化ホールでは開会式に続いて、絵画コンクールの表彰式が行われました。壇上、受賞した小学生の皆さんが、緊張の面持ちで表彰を待っています。そのなかに、なぜかひたすら私に視線をおくる女の子がいました。見れば、なんと、私のいとこの娘さんでした。これにはビックリ！

「特選」に選ばれた彼女の作品は、画用紙からはみ出さなばかりの大輪のひまわり（北区の区花です）が、みずみずしい色彩でのびやかに描かれており、大人の私が忘れてしまったなにかを、思い出させてくれるものでした。表彰状を受け取るときの、ちょっぴり誇りげな彼女の表情が、とても微笑ましかったです。

当日はあいにくの雨にみまわれましたが、多くの子どもたちが参加した様です。今後、地域の行事として根付いていくことを願ってやみません。



視察報告～なすまどか

千葉市 莫大な公共施設更新経費への対応策～総合管理計画を視察 今後30年間で1兆5710億円の公共施設維持更新費

11月11～13日に公共施設マネジメント調査特別委員会の視察が行われました。

今、多くの自治体では、高度経済成長期に建設した公共施設（学校や公民館や福祉施設や庁舎など）や道路などのインフ

ラの建て替え・更新を迎える時期に来ており、莫大な更新経費にどのように対応するのかが迫られています。千葉市では、今後30年間で約1兆5710億円の更新経費が見込まれており、その対応方針について調査を行いました。

施設の統廃合など15%の公共施設の面積削減が必要

千葉市では、莫大な更新経費に対応するために、施設の統廃合、民間への売却や委託など、更新経費の支出を抑えるために現在ある公共施設の面積を15%削減するとの方針です。

学校の統廃合や歩道橋の撤

去など進められているほか、現在は施設ごとに残すか残さないか等の審査が行われています。

住民にとって必要な施設も、利用者が少ないなどの理由で、廃止または統合などが迫られるケースが想定されます。

施設の新規建設は原則行わない

施設の統廃合については、住民に対して十分な情報提供が行われ、合意形成が不可欠になります。住民に公共施設の統廃合をせまるわけですから、行政としても「施設の新

規整備は行わない」ことを計画の大前提にすることは当然です。千葉市においても、「施設の新規整備（新設などの量的拡大を伴うもの）については原則行わない」と定められています。

納得できるでしょうか？

住民に必要な公共施設の統廃合方針が議論される一方で MICE整備・桜町再開発に450億円の税金投入

熊本市においても、寿命を迎える公共施設や道路などの維持更新をどう行っていくのかとの課題に直面しています。同規模の政令市においても1兆円ほどの更新経費が見込まれるなかで、いずれも千葉市のように公共施設面積の削減など厳しい決断が方針に盛り込まれています。熊本市は、来年度

に計画を策定する予定です。いかに公共施設を減らしていくのかの方針が議論されている一方で、MICE施設の整備や桜町再開発へ補助金に450億円の税金が使われる。住民には施設の統廃合を迫り、市は莫大なハコモノ整備を進めるなど、市民の納得を得られるものではありません。

まっとうな議会を市民の力で！ 署名5000筆突破

11月11日 政治倫理調査請求署名 ラストスパート集会

9月26日からスタートした、政治倫理調査要求署名。署名締め切りを10日後にひかえた11月11日、署名数5000筆突破をめぐってラストスパート集会がおこなわれました。

参加者からは、各団体や地域、また議会での署名の取組みが報告され、この署名の意義があらためて示されました。

応援メッセージとして、25年前、政治倫理条例制定に尽力された竹内重年弁護士が登壇し、「皆さ

んの取組みに敬意を表する。まさに闘う民主主義だ」と激励されました。

集会の熱気を受け、署名はその後11月17日現在で5000筆を超えました。

11月24日、いよいよ市議会議長へ署名の提出です。5000人を超える多くの皆さんの思いが結実する 때가近づいています。

